

社会資本総合整備計画

都市再生整備計画事業 事後評価シート  
蓮田市中心市街地地区

平成26年3月

埼玉県蓮田市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	埼玉県	市町村名	蓮田市	地区名	蓮田市中心市街地地区			面積	137ha
交付期間	平成21年度～平成25年度	事後評価実施時期	平成25年度	交付対象事業費	547	国費率	0.4		

1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名							
	基幹事業	道路事業(市道5号線交差点、市道791号線、歩行者専用道路)、地域生活基盤施設(総合案内板)、高質空間形成施設(駅エレベーター、モニュメント)								
	提案事業	地域創造支援事業(駐輪場連絡通路整備事業、コミュニティ活動支援事業)								
	事業名		削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
当初計画から削除した事業	基幹事業	道路事業(市道8号線交差点、市道785号線)、高質空間形成施設(遊歩道)、地域生活基盤施設(緑地、バス案内板)	市道8号線:都市計画道路の線形の検討のため削除 市道785号線、遊歩道:西口再開発事業の見直しや地元との協議が整わなかったため削除 緑地:再開発ビルと一体的に整備する予定だったが、再開発ビルの事業協力者が撤退し整備に遅れが生じたため削除 バス案内板:交通事情の変動により削除			遊歩道や緑地の削除は、その外縁部である蓮田駅西口通線及び市道5号線の整備で補完するので、指標及び数値目標は据え置く。 バス案内板の削除は、駅バリアフリーの整備で補完するので、指標及び数値目標は据え置く。				
	提案事業									
新たに追加した事業	基幹事業	道路事業(蓮田駅西口通線、市道51号線、市道774号線)、高質空間形成施設(駅エスカレーター)、地域生活基盤施設(懸垂幕昇降装置)	蓮田駅西口通線、市道51号線:目標の確実な達成に向けて、魅力ある駅前空間の整備推進に必要なため追加 市道774号線:ボトルネックになっていた地区計画区画道路4号の協議が整わなかったが、急遽交渉がまとまり補償・工事をするため追加 駅エスカレーター:高齢者等の移動円滑化や市民の利便性向上などの目標に、直接的にプラスの影響があるので追加			まちづくりの目標達成に向けプラスの影響があるが、指標及び数値目標は据え置く。				
	提案事業	地域創造支援事業(消防水施設整備事業)	防火水槽:関連事業である蓮田駅西口再開発事業に伴う、駅前交通広場の整備に併せて整備する必要があるため追加			まちづくりの目標達成に向けプラスの影響があるが、指標及び数値目標は据え置く。				
交付期間の変更		当初	平成21年度～平成25年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-			
		変更	-							

2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標	単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
指標1	駅周辺バリアフリー環境に対する不満度	%	76	H20	50	H25		27	○	ありなし	駅東西口にエスカレーターとエレベーターが設置され、バリアフリー化が達成された。	-
指標2	自由通路の利用者数	人	1,242	H20	1,500	H25		1,574	○	ありなし	駅東西口のバリアフリー化により踏切横断が減少し、東西口間の交流は盛んになった。	-
指標3	駅周辺の交通安全に対する不安度	%	66	H20	50	H25		32	○	ありなし	駅前交通広場や区画道路、歩道整備により、駅周辺の回遊性が向上した。	-

3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標	単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
その他の数値指標1	階段歩行が困難な自由通路の利用者数	人	281	H20				520			自由通路利用者のうち、身体障がい者、妊婦、ベビーカー利用者、高齢者等が急増した。	-
その他の数値指標2												
その他の数値指標3												

4)定性的な効果発現状況

- 蓮田駅周辺道路である蓮田駅西口通線や蓮田駅東口黒浜線に自転車通行帯が設置され、歩行者及び自転車の安全性が確保されるようになった。
- 蓮田駅西口駅前交通広場に、蓮田市と友好交流都市である長野県松川町から寄贈されたイチイの植樹を行った。さらに、イベント等の交流を通じて官民一体となった両市町の友好関係が想像以上に構築された(平成24年10月、災害時相互応援協定書の締結及び友好交流都市宣言の調印)。
- 蓮田駅西口通線の整備で延焼防止帯としての効果が期待できるようになった。また、飲料水対応型耐震性防火水槽の整備により災害時の飲料水を確保でき、災害時における安全性の向上等安心感を増加することができた。
- 蓮田駅東西口の駅前交通広場が完成したことに伴い、喫煙のマナーや環境美化の意識向上が期待される。

5)実施過程の評価	実施内容		実施状況		今後の対応方針等	
	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた			
住民参加プロセス	再開発区域に隣接した住民の方々で構成された蓮田駅西口地区まちづくり協議会において、駅周辺に適したまちづくりのルールや手法について検討している。	都市再生整備計画に記載し、実施できた	●	蓮田駅西口地区まちづくり協議会の活動を継続し、住民参画のまちづくりを推進する。		
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				
持続的なまちづくり体制の構築	蓮田駅西口地区まちづくり協議会と連携して、中心市街地の活性化に取り組んでいく。	都市再生整備計画に記載し、実施できた	●	蓮田駅西口地区まちづくり協議会の会員と、まちづくりについて定期的に意見交換し、今後の事業に活用する。		
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				

## 様式2-2 地区の概要

蓮田市中心市街地地区(埼玉県蓮田市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標:賑わいのある、人にやさしいまちづくり 目標1:魅力ある駅前空間の整備を推進し、市民の利便性の向上を図る。 目標2:すべての人に利用しやすい公共交通の充実を図る。 目標3:交通安全施設を充実させ、市民の安心・安全の向上を図る。	駅周辺バリアフリー環境に対する不満度	単位:%	76 H20	50 H25	27 H25
	自由通路の利用者数	単位:人	1,242 H20	1,500 H25	1,574 H25
	駅周辺の交通安全に対する不安度	単位:%	66 H20	50 H25	32 H25
	階段歩行が困難な自由通路の利用者数	単位:人	281 H20	— H25	520 H25

**関連事業** 駅前交通広場【回遊性・利便性の向上】

**関連事業** 蓮田駅西口再開発事業(施設建築物、駅前広場、都市計画道路)A=1.9ha

**提案事業** 地域創造支援事業(駐輪場連絡通路) L=27m、W=4.5m

**基幹事業** 地域生活基盤施設(総合案内板・懸垂幕昇降装置) 3箇所

**基幹事業** 高質空間形成施設(駅)バリアフリー施設整備事業)EV2基、エスカレーター2基

**基幹事業** 道路(市道791号線) L=50m、W=6.0m

**基幹事業** 道路(蓮田駅西口通線) L=200m、W=16.0m

**基幹事業** 道路(市道5号線交差点整備) L=47m、W=9m

**基幹事業** 高質空間形成施設(モニュメント) 2箇所

**提案事業** 地域創造支援事業(防火水槽) 60t 1基

**提案事業** 地域創造支援事業(コミュニティ掲示板設置) 1箇所

**凡例**  
 都市再生整備計画区域 (赤線)  
 市街地再開発事業区域 (赤点線)

0 100 400m

**懸垂幕昇降装置**【公共情報の充実】

**モニュメント時計台**

**提案事業** 駐輪場連絡通路【回遊性・利便性の向上】

**駅エスカレーター**【駅のバリアフリー化】

**市道51号線**【歩道のバリアフリー化】

**まちの課題の変化**

- 再開発事業による駅前交通広場や区画道路の完成により区域内の利便性や回遊性は向上したが、事業の核となる再開発ビルの建設が待たれるところである。
- 公共交通機関利用者及び駅周辺の利便性向上を図るため、蓮田駅を中心に公益施設を集約化し、コンパクトシティを実現する必要がある。

**今後のまちづくりの方策(改善策を含む)**

- 蓮田駅を公共交通アクセスポイントとした中心市街地に、公共交通の利便性を活かして子育て支援施設や市役所窓口施設等の公益施設を再構築し集約化を図る。整備の際は、公共の低未利用地や既存ストックを最大限に活用する。
- 蓮田駅周辺の道路環境を整備し、バリアフリー化や回遊性の向上を目指す。
- 中心市街地に存在する公共空地や庚申塔などの文化財が活かされていないため、緑地やストリートファニチャーを整備して景観を創造するとともに賑わいを創出する。